





# 「東芝機械グループリューションズフェア」開催

来場者数は過去最高を更新(6623人)

業界ニュース  
ONE



## 横形MCの新シリーズ「BM」が登場

東芝機械(本社=静岡県沼津市大岡)は、5月18~20日にかけ、沼津本社工場と御殿場工場にて、恒例のプライベートショー「東芝機械グループリューションズフェア2017」を開催した。

来場者は3日間で6623人(うち海外420人)を数え、昨年の記録(6069人)を上回り、過去最高を更新した。

### 新テクニカルセンタ(御殿場)を披露

工作機械の生産拠点であり、新テクニカルセンタ

## 高らかに「新方針」を宣言(中山理事長)

### 大機器協通常総代会

大阪機械器具卸商協同組合の「第45回通常総代会」が5月22日、大阪市中央区のシティプラザ大阪で開かれた。平成28年度の事業報告書、収支決算書の承認など、平成29年度の事業報告計画、取支予算の設定、また役員総代改選など6つの議案が協議され、いずれも承認された。動報告会懇親会の冒頭、者教育に重点を置き健

全な企業経営のお手伝いができる組合活動目指します。

# ALL IN ONE



生産効率の向上や作業時間の短縮、工具に求められる高い精度、耐久性、面相度の向上など、あらゆるニーズにお応えします。

N ノーブレッシュン株式会社  
http://nabreeshun.com.jp

新たな  
ミーリングスタンダード



shaping your dreams

超硬防振型エンドミル  
**AE-VMS**

**A**  
The A Brand

この一本で、  
多様な  
加工用途に対応

**ADF**  
超硬フラットドリル

**A**  
The A Brand

オーエスジー株式会社  
www.osg.co.jp

レットでさまざまな加工に対応するために開発した。  
BMシリーズは主軸の異なる「BMQ」「BMU」「BMH」の3機種で構成し、機械の占有空間に対する加工空間の割合が他社機や従来機と比べて約2.5倍と非常に高い。  
なお、CNC装置にはJIMTOFにてモードボジション方式装

置)を実機展示した。

そんななか、昨年の

おり。

でもより

多くの加工が可能とな

る。

な、「ナノテクでクリマ」

視(ロボットシステム商品)

▽難密着素材対応インラ

イン加飾システム。

航空機の主翼内部品であ

るスタッフレールと、自動

車タイヤ金型を模擬した

BM1250Uでは、

新版「TOSNUC

PX200」を標準装

備している。

今回、展示機、BM

1250Uは、パレット

450C(H)+オートワ

ークチエンジャーによる自

動車用燃料電池バレー

タの超硬プレス金型加

工。

「铸造加工で未来を支

える」における▽铸造工

場での注湯実演(※写真

C)および铸造技術の紹

介▽厚肉、高強度部品成

形用の全電動射出による

最適層充填・半凝固ダ

イカストの提案「DC

350X」(铸造実演)

【※写真D】ほか。

これらに加えて、大型

4FS+摩擦攪拌接合  
MC(MPF261)  
U【※写真B】、門形  
MC(BM-1250)  
16、立旋盤「TUE-  
100(S)」、横形  
(5A)、テーブル形横中  
門形マシニングセンタ  
『MP-J2640M』  
『MCW-4624』  
『BT-D-200QH』  
『BT-D-110H-R』  
『MC(BM-1250)  
U』【※写真B】、門形  
MC(MPF261)  
4FS+摩擦攪拌接合  
これに加えて、大型

主に次の内容を説いた。  
併せてのプレゼンでは、  
車タイヤ金型を模擬した  
同時5軸加工のデモ運転  
を行った。

主に次の内容を説いた。  
併せてのプレゼンでは、  
車タイヤ金型を模擬した  
同時5軸加工のデモ運転  
を行った。

新しい横形MCの  
「BMシリーズ」は、これ  
まで横形MC「BMC  
シリーズ」などで高精度、  
高剛性で高い評価を得て  
いたが、近年のますます  
多様化する加工に応える  
ため、3種類の主軸とバ  
ーピールした。

「铸造加工で未来を支  
える」における▽铸造工  
場での注湯実演(※写真  
C)および铸造技術の紹  
介▽厚肉、高強度部品成  
形用の全電動射出による  
最適層充填・半凝固ダ  
イカストの提案「DC  
350X」(铸造実演)

【※写真D】ほか。

一方、沼津会場の7つの  
ホールで注目度の高かった  
モンブリトをあげれば、主  
に次のとおり。  
「確かな技術で未来を  
つくる」における、▽新規  
「TVM」とスカラロボット  
「TH1200A」を組み合わせたニア監  
視(ロボットシステム商品)  
▽難密着素材対応インラ  
イン加飾システム。

一方、沼津会場の7つの  
ホールで注目度の高かった  
モンブリトをあげれば、主  
に次のとおり。  
「確かな技術で未来を  
つくる」における、▽新規  
「TVM」とスカラロボット  
「TH1200A」を組み合わせたニア監  
視(ロボットシステム商品)  
▽難密着素材対応インラ  
イン加飾システム。

## MONTHLY ボックス席

### 「オークマ マシンフェア」創業120周年記念スマートファクトリーの実証工場「DS2」披露

オークマは5月24～26日の3日間、創業120周年を記念した「オークママシンフェア2017」を本社／本社工場（愛知県丹羽郡大口町）にて開催した。

「OPEN POSSIBILITIES つなぐ、はじまる、ものづくり革命 - 120年歴史と技術を未来のものづくりにつなぐ -」がテーマ。

新工場「DS2」(Dream Site 2) 部品工場の初披露、「Okuma Smart Factory」の体感、プレミアムソリューションによる高能率加工では、超複合加工機、航空機部品、自動車・量産部品、新自動化システムをハイライトとした。

□ □ □

#### 最先端レーザ応用技術 究極の工程集約を強調

このうち超複合加工機では、旋削・研削加工の枠を超え、金属積層造形(LMD)、コーティング、精密焼入れまでも可能とした世界初の超複合加工機「LASER EXシリーズ」によるレーザ技術の応用を展開した。

旋削・ミーリング・研削加工に金属積層造形を加えた究極の工程集約マシン『MU-6300V LASER EX』では、LMDで金型補修を1台で完遂するデモ加工（磨耗部の除去、肉盛り、仕上げ）を行うなか、「積層造形の際に、他メーカーでは集塵で苦労したと聞く

が、その対策は」など活発な質疑が続いた。

なお、新機種8台を含め最新鋭工作機械は43台を展示した。

また、新工場のDS2は、世界最高のマスカスタマイゼーションを実現。加工設備機は61台を擁する。

先に稼動（2013年～）しているDS1で培ったものづくりをさらに進化させた、文字通り、100年を超える歴史を持つ工作機械メーカーだからこそノウハウが、随所に、存分に活かされている。

ロボットを駆使した自動化（ロボットによる高度な段取作業）、ワークIDによる物流革命（正確



に部品を管理、最適に部品を供給）、見える化の高度化（部品最適から全体最適へカイゼンを加速）など、IoTを活用した超多品種少量生産を実現するスマートファクトリーの実証工場といえる。

なお、機械単体の販売が軸であることは不变ながらも「機械と倉庫、機械と搬送、機械とロボット」といった、DS内で見られる光景そのものも含めた提案も可能だという。

### 3度目の「金属加工技術展」に56社が出展

#### 「研究開発材料の試作請負」の来場者目立つ

5月11日、大阪市中央区本町の大坂産業創造館にて「金属加工技術展2017」が開催された。

今回が3回目となる同展には、特に微細精密、複雑形状、超薄物、特殊金属材料といったバリエーションあふれる高度な加工技術を強みとする、機械加工26社、プレス・板金加工12社、素材加工7社、接合技術2社、その他9社の計56社が出展した。

そんななか、大阪市東住吉区から出展の仁伊丹製作所は、2015年の設立ながら、金属製品のねじり加工技術では国内でもトップレベルの技術をPR。

角棒（ソリッド状）やフラットバーのねじり加工を生業とする事

業所は数多く存在するが、特に内部が空洞の中空管（角パイプ）のねじり加工ができる企業の数は少なく、同社はインテリア製品の脚、門扉の装飾、オブジェの柱などをメインに、存在感を示している。

身近なところでは、大阪・難波の高島屋でのドアハンドルが、その実例だという。

なお、単日開催の同展は、午後2時30分頃からが超満員の様相に。その大半が、「研究開発材料の試作などを請け負う業者」の来場だったようだ。



### 大阪西機工会 通常総会

#### 立売堀キャラのデザイン＆ネーミングを募集

大阪西機工会は5月10日、大阪市西区土佐堀のリストランテ・サリーレで通常総会を開催した。



西野佳成会長あいさつ

冒頭のあいさつを終えた西野佳成会長（西野産業社長）が議長として進行。平成28年度（第65期）の事業報告、収支決算報告および監査報告、平成29年度の事業計画案、収支予算案の審議事項を承認。

役員任期満了に伴う役員改選（計23名）、同会の組織替え（総務部と外部の統合、統括部の廃止）、任期満了に伴う大阪機械器

具卸商協同組合役員および総代の候補者選任についても承認された。

また今回は、田中健一副会長（Joyful喜一ホールディングス社長）が青年部長として、立売堀キャラクターのデザイン（原画的な意味合い）とネーミング募集について説明に立った。

同会では日頃から、「モノづくりを支える機械工具商の街」立売堀の活性化を、さまざまな活動を通じて取り組んでおり、知名度向上によりリクルート活動に役立てることや、アクセサリーやグッズ化も視野に入れ、会員、青年部はもちろん、その家族からの応募など、広く呼びかけた。

### 吉岡幸「スプリングフェア」の来場者700名

#### 来年は4年毎の「ゴールデンフェア」開催へ

福井県の建設・産業資材のトータルサプライヤー吉岡幸（本社＝福井市宝永）は、『2017スプリングフェア』を自社テクノセンター（福井市二の宮）にて、5月16日を「まちづくり」編、同25日を「ものづくり」編として開催した。

例年であれば4月開催が恒例であったが、今年は、昨年11月より改裝工事を開始し5月連休明けに完成した機工センター、テクノセンターのリニューアルオープン記念を兼ねたため、この時期の開催となった。

そんななか、両開催日を合わせ来場者は、目標の600名を大きく上回る709名（まちづくり379名+ものづくり330名）を



数えた。

このうち、ものづくり編には41社が出展。4年連続となる地元・坂井市丸岡町のギケンは、穴精度、直進性も良く裏バリの出ないことで好評の、アルミ樹脂、SUS対応『ハイブリッドドリルゼロバリシリーズ』を引き続きアピールした。

なお吉岡幸は、来年は4年に一度の『ゴールデンフェア』の開催を福井産業会館にて予定する。

### THK 決算短信

#### グローバルな拡販、連結対象社加え増収増益

THK（本社＝東京都品川区西五反田）は、平成29年3月期の連結決算を発表した。

売上高は2,735億7,700万円（前期比13.8%増）、営業利益は246億5,300万円（同6.4%）、経常利益は233億9,800万円（同22.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は167億3,100万円（同23.2%増）。

輸送機器関連事業での連結対象（欧米のTRA4社）が加わったことや、主力製品のLMガイド（直線運動案内）をはじめ、これまで強化してきた事業体制を活かしてグローバル規模で積極的な拡販に努めるなか、売上高では、日本＝1,218億6,500万円（前期比2.5%

%増）、米州＝628億7,000万円（同27.0%増）、欧州＝487億7,500万円（同56.2%増）、中国＝280億800万円（同0.6%減）、その他＝120億5,600万円（同5.4%減）といったセグメント状況となった。

なお同社は、今年度より決算期を12月31日に変更を予定し、平成29年12月期（4月1日～12月31日の9ヶ月間）の連結業績見通しについては、足元の好調な受注状況をふまえ、売上高2,735億円、営業利益280億円、経常利益282億円、親会社株主に帰属する当期純利益202億円を計画する。



# 私だけのスカウティングレポート

## 第11回 =外伝=

# 「外国人技能実習生制度」

## —受け入れ期間が3年から5年に延長

「非常に良い制度だと  
か  
て、この制度をどう思  
う  
る。  
—現在ベトナム人の技  
能実習生の受け入れは  
何名  
「女性が4名です。年  
齢は皆、20歳前後です」  
—日本の製造業にどう  
思っています。当社にはい  
ません。  
特に製造現場への応募  
ね」  
—新卒採用は  
「新卒入社では昨年4  
月に、実に6年ぶりに1名  
が入社しました。ただし、  
事なので、ミスをしてしま  
うと重圧に耐えられずに  
辞めてしまう人が、これ  
で、本当に応募者が来  
非常に気を遣っています。  
でも、本当に応募者が来  
非常に良い制度だと  
て、この制度をどう思  
う

日本国内では、介護業界などにおける人材不足が深刻な問題として取り上げられている。もちろん、製造業も例外でないことは周知のこと。行政面でもこの問題を深刻なものと捉え、法的な支援や制度面の整備など、あらゆる可能性の検討と対策の実施がなされている。厚生労働省は2017年度から、外国人技能実習生の受け入れ期間を優良な団体に限り、従来の3年から5年に延ばすなど、労働環境の改善を促している。そんななか、東海圏のある金属切削加工の事業所(匿名希望)で聞けたタイムリーな話を再録する。

## 「非常に良い制度」「帰国は非常に惜しい…」ある金属切削加工事業所の備忘録

—会社全体の陣容は  
「日本人が15名、外国人実習生が4名の計19名。あとは見習いパートが1名です。実習生の制度の枠で4名。全員女性ですが、最初は女性でできるのか?と思いました。県の製造業組織で、ベトナムハノイへ視察に行つたときに金型の磨き工程を見たのですが、全員女性でした。ベトナムでは力作業は別として、男性がいるので、なによりも性が入るので、なによりも明るくなるのが一番です。正直、実習生は最低賃金(以上)で雇用することができるというメリットがあります」

—受け入れ期間が、今後は5年に延びたが、最終的に帰ってしまうといふ問題は変わらない

—受け入れ期間が、今まで多かったですね。0.001mmの世界ですが、そこを追求していかないと仕事は成り立つていませんから

—何か延長とかでき  
ないものか

—「エンジニアとして雇用することは可能ですが、日本人と同額の給料を支払う必要性が生じます。正直、実習生は最低賃金(以上)で雇用するこ

とができる」というメリットがあります

—受け入れ期間が、今後は5年に延びたが、最終的に帰ってしまうといふ問題は変わらない

—この機会なので、ここで「外国人技能実習制度」のあらましを整理しておこう。



### 研修スタート

こんな情報

### 総合請負サービス

ティーチングを行う技

能者のこと

ティーチ

グマンと呼

グマンは労働安全衛生法

により、特別な教育を受

けることが義務付けられ

ている。

なお、同社は、6月21日(水)～23日(金)に北九州

市小倉の西日本総合展

示場で開催される「2017ウエルディング・ウォー

ラム in 西日本」に出席

し、そこでロボット溶接の

実演を行う予定。

また同社では、研修セ

ンター(茨城県土浦市)へロボット溶接機を導

入した(※写真)。

川区西中島)は、関東研

修センター(茨城県土浦

市)の職場見学ツアーが

実施される。

また同社では、研修セ

ンター(大阪市淀川区・愛

知県安城市・茨城県土浦

市)の職場見学ツアーが

実施される。

(続く)

### ものづくり伝承

#### 『ライナーノーツ』



ツーリングコンシェルジュ・清水浩の『実践ツーリング技術』(FTE) 編(27)

## ドリル刃先周辺の実切削への影響度を「点数評価」する

ツイストドリルの基本的な形状は、長い期間を経て、現在ではほぼ固定されたのではないかと思います。

もちろんこれは、私、ユーザー側のマクロ的な見方であり、ミクロ的な研究を重ねているメーカーの技術者からは批判を受けるかもしれません。約40年間ドリルの設計と現場加工も経験しながら、ドリルメーカーの御教示や加工現場でのトラブル対策を重ねてきたことからドリルの「顔」自体を少々変化させても画期的な効果はないのではないかと感じたからです。

具体的には、ねじれ角や溝形状、溝粗さの改善、オイルホール形状などの提案も承知していますが、それらが加工精度、寿命、加工時間などに大幅な影響を与えることも少ないと推測します。

したがって今後の切削性能は、形状ではなくコーティング材質や被覆技術の革新、さらには再コーティングの改善が考えられるのではないでしょうか。

最近はコーティングメーカーの技術紹介が増えており、そう推測しています。また、アルミ加工に対しては DLC(ダイヤモンドライカーボン)が普及していると聞きましたが、コスト面や再コーティングの可否、寿命アップの確認など、目的を明確にして採用されればと思います。

私のお客様も DLC を試行されましたが、前述のとおり、まだ数値評価はなされていません。ここで忘れてはいけないのが、超硬材質そのものの新しい製造技術、組成改革が残されていることです。

切削工具には膨大な種類があ

りますが、なかでも最も一般的なドリルの刃先形状、刃先諸元などは工具メーカーの技術資料には必ず表示され、カラーによる表示はもちろんのこと、立体的(3D)に表わされ、一般の人たちも容易に理解できるように工夫されています。

### ドリルの評価項目

要素	諸元	重要度
刃先周辺	①先端角	2
	②逃げ角	3
	③ウェブ、ウェブテーパー	5
	④シーニング	5
	⑤チップブレーカー	0
	⑥マージン幅	1
	⑦ねじれ角	1
	⑧ラディアルレーキ	1
	⑨プレホーニング	1
	⑩外径	—
	⑪外周逃げ深さ	1

今回掲載しました表と前回のスケッチ(刃先磨耗)は、私自身の考え方による区分けしていますので、専門の方のみ理解いただけるのではと思います。

さて、表記はまずドリルの「刃先周辺」に絞り、それぞれの諸元の実切削への影響度を点数評価しました。5は重要度が最も高いことを示します。

ですが、多くの方々より、「その評価基準は?」「その理由は?」など、たくさんの質問やご批判があるでしょうが、「経験上の考え方」だとご理解いただき、またこのコーナーで議論できればと考えています。ぜひご意見を投稿いただければ、ありがたく思います。

については次号以降にて、①先端角～⑪外周逃げ深さ、順を追つてそれぞれ、スケッチも交えながら解説を加えて参ります。

(続く)

**産業・工業・機械 基板用硝子**

耐熱用硝子  
電子用硝子  
石英硝子  
光学研磨硝子  
バイレックス  
バイコール

平岡特殊硝子製作株式会社  
〒550-0013 大阪市西区新町4-7-8  
TEL. 06-6531-2505 FAX. 06-6538-2225

条件による。  
次頁へ

—計画的な組織づくりができる」と雇用期間は3年から5年間。毎年、常勤職員数(同業務の雇用保険加入者)の5%から10%の人数を採用できる(※優良監理団体、優良実習実施機関などの条件による)。

—受け入れ期間が、今まで多かったですね。0.001mmの世界ですが、そこを追求していかないと仕事は成り立つできませんから

—何か延長とかでき  
ないものか

—「エンジニアとして雇用することは可能ですが、日本人と同額の給料を支払う必要性が生じます。正直、実習生は最低賃金(以上)で雇用するこ

とができる」というメリットがあります

—受け入れ期間が、今後は5年に延びたが、最終的に帰ってしまうといふ問題は変わらない

—この機会なので、ここで「外国人技能実習制度」のあらましを整理しておこう。



## ● New arrived! 新製品セレクション ●

## 極東マシーンツール

## 長寿命化を実現した最新型工具折損検出装置

極東マシーンツール(本社=東京都世田谷区奥沢)は、最新型の工具折損検出装置『FEM-CLS/EHS』を発売した。

FEM-CLS/EHSは、生産性の向上を実現させるために、新たにステッピングモータ、ギア・カップリングレス構造を採用することで、装置の長寿命化を実現した。

またそれにより、センシングヘッドの交換スパンが長くなり、製造部品の生産効率向上、センシングヘッドの購入費用軽減による、コスト削減効果をもたらせる。

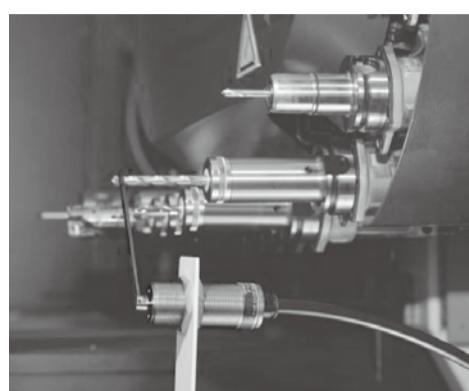
主な特長は、次のとおり。

## AE、近接スイッチらとは異なる検出システム

①各種工作機械(NC自動盤、NCボール盤、ロータリインデックスマシン、トランスマーマシン、多軸ボール盤等)に簡単に取り付けることができ、0.2mmのドリルやタップなどの工具折損を確実に検出し、工具が折損すれば、瞬時に機械を止め、赤ランプの点灯で異常箇所を知らせ、不良品の発生を未然に防止できる。

②小サイズのため、取り付け場所を選ばず、簡単に取り付けることができる。検出物は、ドリル・タップ・リーマ・加工物・アッセンブリマシンの検出モニタリング装置にも、使用できる。

③LEDやスイッチが前面に配置され、判定結果の目視確認や、設置時の設定ができる。また、



▲工具折損検出装置 FMS-CLS/EHS

センシングヘッドはコネクタケーブルでコントローラーに接続するだけの取り付け。コントロールユニットとの間は、20mまで延伸できる。

④検出対象物との通電による検出方法ではないため、切削油や切粉、機械の振動の影響は全く受けない。

⑤PLCなどの装置により制御され、簡単な入力指令を与えるだけで、判定結果を正確に出力することができるシンプルな制御回路。

⑥磁気式エンコーダを採用することで、1種類のセンシングヘッドで全ての検出角度に対応でき、角度別の在庫を持つ必要がなくなる。

⑦ギア・カップリングレス構造により、ギアの摩擦、破損および、カップリング部の軸ずれを解消した。

⑧防水性能を常に最良の状態に保てるよう、ユーザーでの防水シールの交換が可能。

## セコ・ツールズ

## 鋼旋削用の充実した材種ラインナップが完成

セコ・ツールズ(ジャパン本社=東京都大田区南蒲田)のDuratomic技術ベースTP材種シリーズに、最適の安全性を実現するTP3501材種が加わった。

この新材種は、激しい断続や、低い加工安定性、小さい径の内径加工、または部品サイズや形状のため、設定が不安定な鋼の旋削用途に最適であり、従来のTP2501、TP1501、TP0501にTP3501が加わり、鋼旋削用の充実した材種ラインアップが完成した。

この新しいTP材種には、セコ・ツールズの使用済み刃先検出機能が採用され、高性能チップに関する広範な経験とあらゆる切れ刃に関する知識が集約されているこ

とにより、使用済みの刃先を瞬時に識別するため、潜在的な無駄を低減する。

また、コーティング成分を原子レベルで操作して、機械的特性と熱特性を改善するDuratomic技術が採用されている。

韌性と硬度を巧みなバランスで達成しており、性能をさらに高める。

包括的なTP3501シリーズには、幅広く適用できるM6をはじめ、さまざまな形状のチップを約400種取り揃えている。



## 三菱マテリアル

## モールデッド後挽き加工用インサートを発売

三菱マテリアル 加工事業カンパニーは、「小型自動旋盤用工具シリーズ」にモールデッド後挽き加工用インサート『SMBブレーカ』を追加し、販売を開始した。

高精度、高品質な加工が要求される小型自動旋盤による加工は、切削工具には安定した仕上げ面と切りくず処理が要求される。

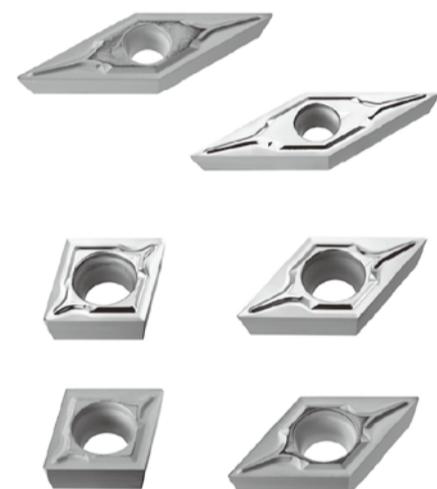
しかしながら、従来の後挽き加工用研削ブレーカは、溝加工時に切りくずの噛み込みが発生し、つば裏面の面粗さが問題視されてきており、つば裏面粗さの改善可能

## 三菱マテリアル

## 難削材旋削加工用インサートにチップブレーカ追加

三菱マテリアル 加工事業カンパニーは、難削材旋削加工用インサート材種『MP9000/MT9000シリーズ』にチップブレーカを追加し、販売を開始した。

難削材加工用インサート材種『MP9000/MT9000シリーズ』は、航空機や医療器具などを中心としたチタン合金、耐熱合金、耐食合金などの難削材といわれている旋削加工用に耐摩耗性、耐欠損性、耐溶着性を向上させ、突発欠損や切りくずトラブル対策として、ユーザーより高い評価を得ている。



▲精密級チップブレーカシステム

切削領域用は、平行切れ刃の採用で低切削領域から中切削領域まで幅広い領域で安定した切りくず処理が可能とし、耐熱合金、チタン合金、コバルトクロム合金旋削加工用の「LSブレーカ」とチタン合金、銅合金旋削加工用の「LS-Pブレーカ」はポリッシュ(鏡面)仕上げを施し、耐溶着性を大幅に向上。

③ネガティブインサート「MAブレーカ」は、汎用領域に対応するポジランド刃形で切れ味が良好。

型番は、難削材の仕上げ切削用第一推奨ブレーカ「FSブレーカ」9型番、チタン合金の仕上げ切削用第一推奨ブレーカ「FS-Pブレーカ」9型番。難削材の軽切削用第一推奨ブレーカ「LSブレーカ」17型番、チタン合金の軽切削用第一推奨ブレーカ「LS-Pブレーカ」17型番。中切削領域用「MAブレーカ」4型番。

## 精密級チップブレーカシステム &amp; MAブレーカ

このたび、小型自動旋盤加工に多用される「精密級チップブレーカシステム」と汎用性の高い「MAブレーカ」を追加することにより、適応範囲の拡大を図った。

「精密級チップブレーカシステム」と「MAブレーカ」それぞれの主な特長は、次のとおり。

①「精密級チップブレーカシステム」ポジティブインサートの仕上げ切削領域用は、曲線切れ刃によりスムーズな切りくず排出が可能な設計とし、耐熱合金、チタン合金、コバルトクロム合金旋削加工用の「FSブレーカ」とチタン合金、銅合金旋削加工用の「FS-Pブレーカ」はポリッシュ(鏡面)仕上げを施し、耐溶着性を大幅に向上。

②「精密級チップブレーカシステム」ポジティブインサートの軽

## ● New arrived! 新製品セレクション ●

DMG MORI  
圧倒的な差を生む大型5軸加工機  
『DMU 600 Gantry linear』

DMG MORIは、大型ワークの5面/5軸加工に最適な大型5軸加工機DMU 600シリーズの内、リニアドライブを搭載し、最高の動的性能を実現する『DMU 600 Gantry linear』を開発した。

DMU 600 Gantry linearは、同時5軸加工や機械のフルカバー化、リニアドライブによる高い動的性能などにより、従来の5面加工門形マシニングセンタとは一線を画し、その生産能力は圧倒的な差を生み出す。

主な特長は、次のとおり。  
①【5面/同時5軸加工】=Z軸ラムに組み込まれたC軸と交換式のA/B軸ミーリングヘッドにより、同時に5軸加工が可能。高速でパワフルなミーリング能力を発揮し、金型や航空宇宙産業などの大型で高速・高精度が求められるワークに最適。ほか。

②【圧倒的な送り速度】=直線軸にはリニアモータを搭載し、ガントリ構造では最高の精度と動的性能を実現。また、早送り速度は45m/minなど従来の5面加工門形MCと比べ加工時間の大幅な短縮を実現している。ほか。



③【安定したガントリ構造】=機械構造にはFEM解析によって最適化されたEN-GJS-600-3(GGG60)製のベッド、クロスビーム、Z軸ラムを採用し、想像以上の剛性を実現し、長期間安定した加工精度を保つことができる。ほか。

④【機械のフルカバー化】=門形の大型機械をフルカバー化することで、安全かつクリーンな作業環境を実現する。ほか。

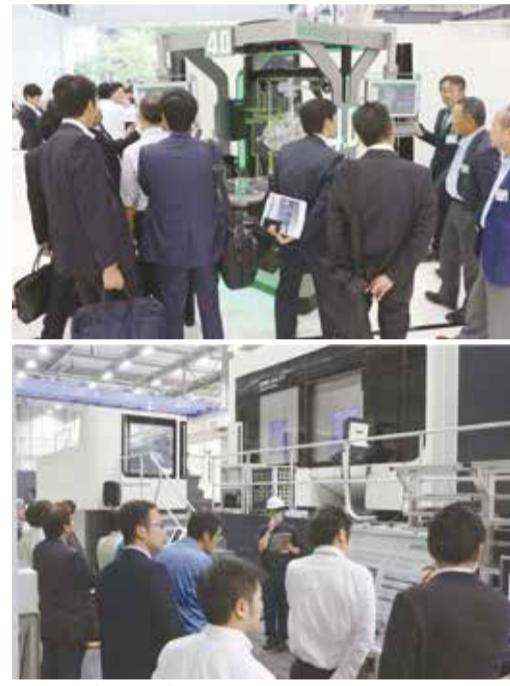
⑤【テクノロジーサイクル】=汎用の市販工具でギヤ加工を行う「DMG MORI gearMILL」など、品質向上や加工プログラムをサポートする同社独自のテクノロジーサイクルをオプションで使用できる。ほか。

DMG MORIではDMU 600シリーズに加えて、大型ワークに最適な5面/5軸加工機として、最新式の大型5軸加工機DMU/DMC 210/270/340シリーズをラインアップしている。

業界ニュース  
ONE+ DMG 森精機

# 「IGAINNOVATION DAYS2017」開催へ

6月20日(火)~24日(土)/三重・伊賀事業所



昨年展(2016年)には9600名を上回る来場者が訪れた

JR名古屋駅とJR新大阪駅から無料送迎バスを運行する。  
■世界初披露…ターニングセンタの新シリーズ『NVXシリーズ』の第2世代モデルを世界初披露。

■日本初披露…AM方式のパウダーベッド方式

ION DAYS 2017  
■世界初披露…ターニングセンタの新シリーズ『NVXシリーズ』の第2世代モデルを世界初披露。

■日本初披露…AM方式のパウダーベッド方式

■世界初披露…ターニングセンタの新シリーズ『NVXシリーズ』の第2世代モデルを世界初披露。

■日本初披露…AM方式のパウダーベッド方式

■世界初披露…ターニングセンタの新シリーズ『NVXシリーズ』の第2世代モデルを世界初披露。

DMG森精機(本社)は、6月20日(火)~24日(土)の5日間、工作機械としては世界最大のショールームである伊賀グローバルソリューションセンター(伊賀事業所/三重県伊賀市御代)に最新鋭の約60台を展示し、「IGAINNOVATION DAYS2017」を世界初出展、アディティブマニファクチャリング

グ(A/M機初のパウダーベッド方式を採用した『LASERTEC 30 SL』)やDMG MORI Model 2nd Generationを世界初出展する。また、インダストリー4.0に対応した『CELLOS』やDMG MORI Messengerの活用で、生産システムや自動化ソリューションの統合管理を提案する。

さらに、DMG森精機を採用した『LASERTEC 30 SL』を日本初披露。また、インダストリー4.0による技術セミナーの実施や工場見学などを実施する。

■Smart Factor

■自動化…ユーザーの要望に応えるターンキーシリューションの提案。

■DMG森精機認定の周辺機器…合計4ブースおよび規模で高性能高品質な周辺機器商品を展示。

■テクノロジーサイクルを出展機に搭載…DMG森精機認定の機械周辺機器と機械本体を組み合わせて最適なソリューションを紹介。

■すべての機械でデモ加工を実演。

## 世界初披露、日本初出展含む最新鋭60台を展示

コロマント推進図説

### CoroTurn® Prime and PrimeTurning™ 旋削加工の再発明

サンドビック・コロマントが提供する新しい旋削加工コンセプトの加工法PrimeTurning™と工具CoroTurn® Primeは、あらゆる方向での旋削加工を可能にし、生産性を飛躍的に向上します。従来的旋削加工より50%以上高い生産性をもたらし、今までの旋削加工コンセプトとは一線を画します。このイノベーションは、効率および生産性がはるかに高い方法で既存の旋削加工を行うことができる、無限の可能性を提供します。

2X

2倍の加工条件



>50%

より長いチップ寿命

生産性向上

SANDVIK Coromant

PrimeTurning™による加工の様子をウェブサイトでご覧ください。  
[www.sandvik.coromant.com/primeturning](http://www.sandvik.coromant.com/primeturning)





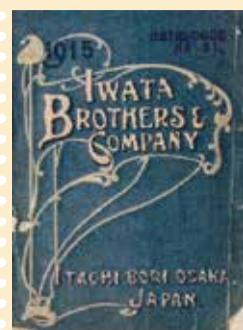
## カタログ通販の始祖が里帰り? 旧・内外岩田実業入居ビル

大阪西機工会の通常総会(※本紙4面参照)が開かれた「リストランテ・サリーレ」(大阪市西区土佐堀)は、明治～戦前昭和期にかけ大阪機械金属商の御三家と称された「岩田兄弟商店」の後身、旧「内外岩田実業」がかつて入居していた大正建築のビル。

同社発行の「岩田のカタログ」は、戦前期には最も

メジャーな機械工具カタログであり、ゲスト参加した村上洋介氏(立売堀・新町界隈の歴史を研究)により、その1915年発行の現物が展示された。

村上氏は、「なかなか凄いカタログ。ほぼ現在のカタログ通販に近い形を、すでに備えている」と解説を添えた。



**UNI MAG**  
UNI MAGNETIC INDUSTRIAL CO., LTD.

## CANDLE FILTER

### キャンドルフィルター

#### ▼適用される機械

- 1.超硬工具研削盤
- 2.ホーニングマシン
- 3.放電加工機
- 4.ボールねじ研削盤

**CFT-1**

#### ▼できるだけ粘度の低い研削油の 適用をお推奨します

(推奨研削油をお使いください)

#### ▼濾過精度

1 - 3 μ



濾過前



濾過後



### 特徴

#### キャンドル▶

- 1.一本のキャンドルの中に数万枚の膜が含まれており、バネでしっかりと圧縮しています。膜と膜のある間に極めて狭い隙間で切粉を捕え、最高精度1μまで濾過できます。
- 2.逆洗サイクルが速く、時間を要しません。
- 3.キャンドルが塞がり処理量が減った時は圧縮空気で吹くことにより、キャンドルが伸びスラッジの排出が簡単にできます。
- 4.スラッジバッグに研削油回収装置があり、中には研削油が残らないため、スラッジバッグの交換、乾いた切粉の回収も簡単です。
- 5.キャンドル交換は約5～10年間不要です。(推奨研削油をお使いください)

◀濾過膜

**MEKALOCK**  
メカロック株式会社

輸入・販売元

本社

〒302-0105

茨城県守谷市薬師台3-5-13 電話 0297-38-6428/FAX 0297-38-6429

中部営業所

〒465-0014

愛知県名古屋市名東区上菅1-613-1 電話 /FAX 052-777-8247



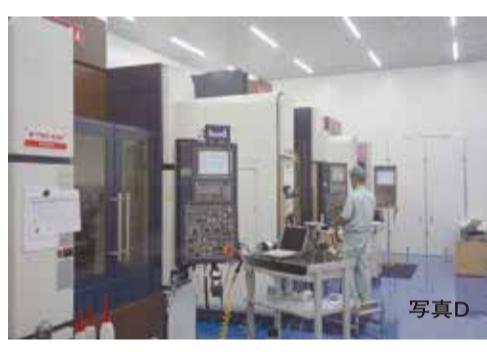
写真A



写真B



写真C



写真D

## ハイライトは 「恒温室 in 恒温室」

安田工業 新ショールーム

**A · B**  
研削盤『GT 30』  
の3軸と5軸各1台、  
CNC歯車成形  
機『P X 30 i』  
の6台。

新ショールームは、「完  
全恒温室」が目玉。  
完全恒温室の環境下  
で、高度な微細加工を行  
うユーザーは、かなり増え  
ている。

こういった動向をふま  
え、新ショールームとなった  
エリアは元々が組立工場  
のため、そもそもが恒温  
工場。その中に、さらに内  
部建ての恒温室を設け、  
熱源を完全シャットアウト  
した「恒温室 in 恒温  
室」となっている。

新ショールーム全体の設  
置機種は現状 CNCジ  
グボーラー『YBM Vi  
40』『YBM 640 V Ve  
r. III』『YBM 950 V V  
er. III』『5 AXES H 40  
i』『P X 30 i』  
※写真  
A · B

新ショールームは、「完  
全恒温室」が目玉。  
完全恒温室の環境下  
で、高度な微細加工を行  
うユーザーは、かなり増え  
ている。

新ショールームは、「完  
全恒温室」が目玉。  
完全恒温室の環境下  
で、高度な微細加工を行  
うユーザーは、かなり増え  
ている。

新ショールームは、「完  
全恒温室」が目玉。



## 今月の焦点

サンドビック コロマントカンパニー  
『コロターンプライム』



▲オーエスマシンフェアでの「コロターンプライム」展示

## 「逆引き加工」—低切込み角の 「プライムターニング」が可能

拡散希望!



▲1 サドルCNC旋盤への搭載で逆引き加工実演 (オーエスマシンフェア)

高生産性加工、チップの長寿命化  
を劇的にもたらす

そんな声のなかのひとつ、「なんでもかんでも、形状のチップとホルダにより、従来、(※)押し加

つけ、「なんでもかんでも、形状のチップとホルダによ

りくずの厚さは、切込みに対するコンマ一送れば、そのままコンマ一の切りくずが出てくる。

だが、逆引きをするこ

とにより角度が付くこ

とで、コンマ一の送りでも、常に薄く、「皮をむくよ

うな感じ」で高送りすることができ、その分、ス

ピードを上げることがで

る。専用ホルダはキヤブトタイプが12型番、角シャンクタイプが20型番。

ホルダにはクーラントを刃先まで供給できる内部給油機構を採用している。

という新たな旋削方法で  
きる。

これらにより、チップ  
は、従来とは逆方向の「引  
き加工(バックターン  
グ)」「引き上げ端面加  
工」を行うことにより、  
高送りによる高生産性  
加工とチップの長寿命化  
を劇的に図る加工方法。

従来の加工方法では、チップのノーズR付近に切削熱や加工負荷が集中してい

たものに対し、低切

込み角の「プライムターニ

ング」では、チップの切れ刃

に切削熱と加工負荷が

拡散される。

「旋削加工の常識を変える」「旋削史上最大のイノベーション」など、4月1日の全世界「音発

壳の前から、内外でその期待値も非常に高かった、サンドビックコロマントカンパニー(本社)名古屋市名東区上社)の新製品「コロターンプライム」。

イベントラッシュのこのシーズン、5月にはMEX金沢、東芝機械やオーネグ設置で、「考え方はおもしろいね」「いろいろ考えるね」「単純な発想なんだけどね」と説明に聞き入る来場者の中なかで、確実にその存在感を高めていた。

理事長 中山哲也  
役員一同

〒550-0011 大阪市西区阿波座2丁目2番18号 いちご西本町ビル 11階  
TEL06-6541-6802 FAX:06-6541-6530 http://www.daiki.or.jp/outline/



大阪機械器具卸商協同組合

理事長 中山哲也  
役員一同

〒550-0011 大阪市西区阿波座2丁目2番18号 いちご西本町ビル 11階  
TEL06-6541-6802 FAX:06-6541-6530 http://www.daiki.or.jp/outline/